

Label Printer Utility Light

ユーザーズマニュアル

Version 2.0.11.0

商標・版權

Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名及び商品名は各社の商標または登録商標です。
本マニュアルの内容については、将来予告なしに変更する事があります。

改版履歷

目次

1. はじめに.....	5
本ユーティリティの概要	5
システム要件と言語.....	6
インストール	7
クイックスタート	7
2. インターフェース.....	8
プリンタドライバ.....	8
シリアル (COM/VCOM)	9
パラレル (LPT)	9
USB	9
LAN	9
3. 設定の送信.....	10
設定送信機能.....	10
[基本]タブと[拡張]タブ	10
[かんたん]タブについて	11
4. 設定の受信.....	12
設定受信機能.....	12
[情報]タブ	12
5. エクスポートとインポート.....	13
エクスポート	13
インポート	14
設定ファイル.....	15
6. 用紙センサーの調整	16
センサー調整機能.....	16
センサー調整設定のエクスポート.....	16
7. テスト印刷	17
テスト印刷機能	17
8. 初期化、終了	18
初期値に戻す	18
終了	18

1. はじめに

本ユーティリティの概要

本ユーティリティは、Windows コンピュータで EC300 シリーズの機能設定を行なうアプリケーションです。プリンタへ機能を設定する「設定送信」、プリンタの機能設定を取得する「受信」、プリンタの用紙センサーの調整を行う「センサー調整」、設定項目をテキストファイルに保存する「エクスポート」、設定項目をテキストファイルから読み出す「インポート」の機能をご使用いただくことで、同じ設定を繰り返し使用する事が可能になります。

LabelPrinterUtility 2.0.11.0

プリンタモデル: EC320 日本語

かんたん 基本 情報 センサー調整 テスト印刷

☐ 全選択/全選択解除

設定番号
設定番号 ☐ 設定番号 1

印刷設定

印刷速度 ☐ 6 IPS 自動横シフト ☐ 0 DOTS

印刷濃度 ☐ 10 センサー選択 ☐ アジャスタブル

濃度微調整 ☐ 0 用紙センサー ☐ 透過

印刷方法 ☐ 感熱 頭だしセンサー ☐ OFF

リボン巻き方向 ☐ 外巻き 頭だし長さ ☐ MM

連続紙用紙長 ☐ 101.6 MM 小型ラベル印字 ☐ OFF

縦方向印刷位置 ☐ 0.0 MM 小型ラベルピッチ ☐ 25.4 MM

横方向印刷位置 ☐ 0.0 MM シンボルセット ☐ JS

縦方向位置シフト ☐ 0.0 MM

縦方向位置シフト ☐ DOTS

システム設定

センサー閾値 ☐ 1.5 V スタンバイモード ☐ ON

ペーパーエンド閾値 ☐ 3.00 V スタンバイタイマー ☐ MIN

エラー報知 ☐ 動作時 PNE Status ☐ ON

カバーセンサ ☐ OFF PNE Alarm ☐ OFF

I/F:

☒ ドライバ名
Okabe Marking Systems E USB001

☐ COM / VCOM:
詳細...

☐ LPT:
LPT1:

☐ USB:
USB001

☐ IPアドレス
192 . 168 . 0 . 1
ポート番号: 9100

設定送信

インポート... エクスポート...

受信 基本

初期値に戻す 終了

システム要件と言語

本ユーティリティを使用する推奨環境は、Windows 7 Professional SP1 と同等かそれ以上のオペレーティングシステムです。本ユーティリティは、オペレーティングシステムの言語を自動的に認識し、日本語、中国語(簡体)、韓国語、それ以外の言語を英語で表示します。また、手動で言語を切り替えることも可能です。

※言語切り替えは、設定変更前に実施してください。言語を切り替えると設定値が初期化されます。



本ユーティリティは、以下の環境で動作が確認されています。

- Windows 10 x64
- Windows 8.1 x64
- Windows 8 x86
- Windows 7 Professional SP1 x86 日本語版
- Windows XP Professional Version2002 SP3 x64 日本語版

インストール



本ユーティリティは、左記アイコンの LabelPrinterUtilityLight.exe です。exe ファイル形式で配布されます。お使いのコンピュータの任意のフォルダにコピーし、起動してください。

なお、本ユーティリティは終了時に、選択中のプリンタモデルとインターフェース情報を記録した LabelPrinterUtility.ini と、全項目の設定値を記録した Recent.dat の 2 つのテキストファイルを、exe ファイルと同じフォルダに出力します。

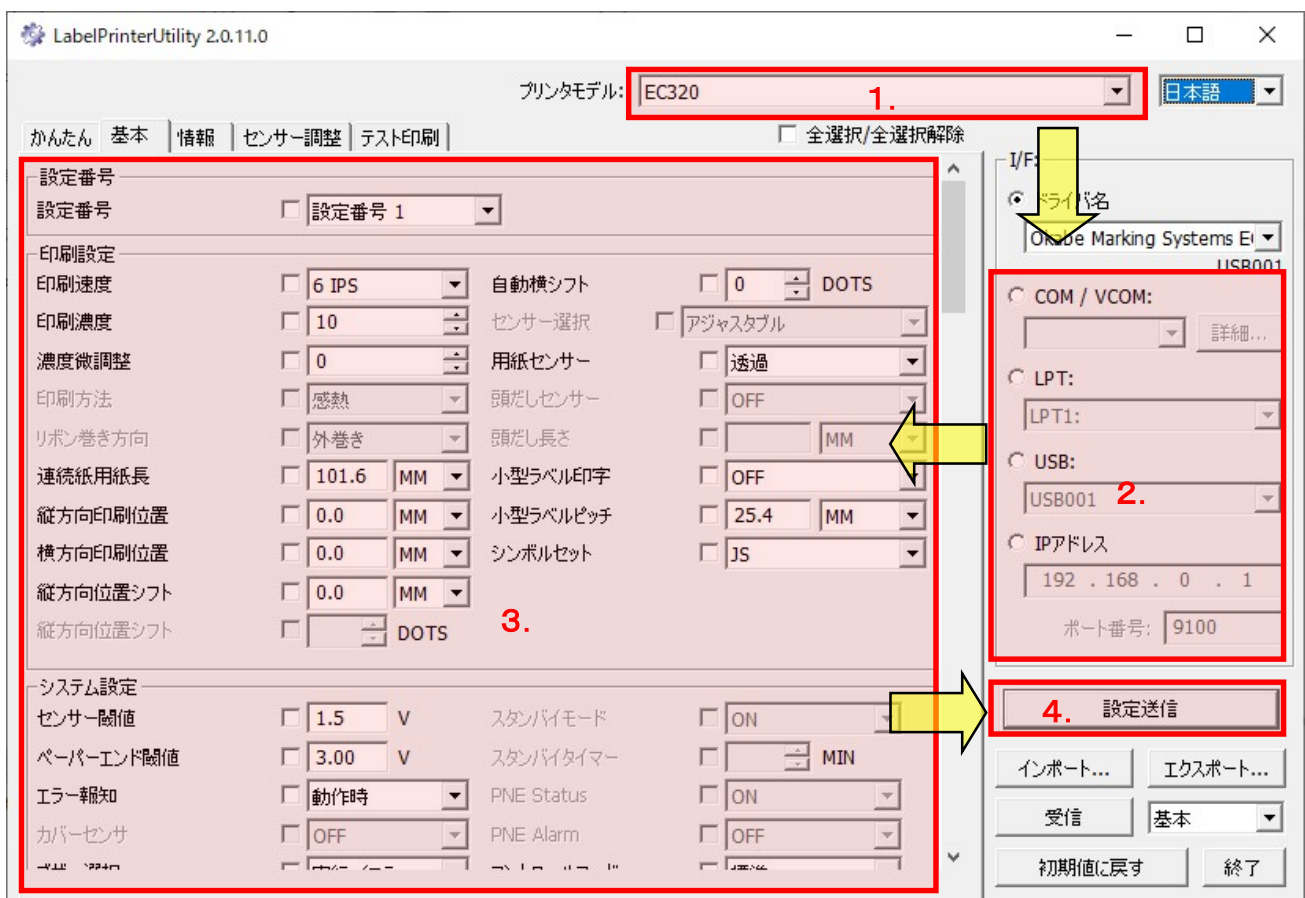
次回起動時から、これらの ini ファイルの内容を反映して起動します。Ini ファイルがない場合は、全て初期値がセットされた状態で起動されます。CD や書き込み不可のメディアから起動した場合も、初期値での起動となります。

クイックスタート

“LabelPrinterUtilityLight.exe”を起動し、

1. 対象の“プリンタモデル”を選択
2. プリンタとの接続に使用しているインターフェースを選択
3. チェックボックスで設定する項目を選択 ※チェックを入れた項目だけが設定されます。
4. [設定送信]ボタンを押下

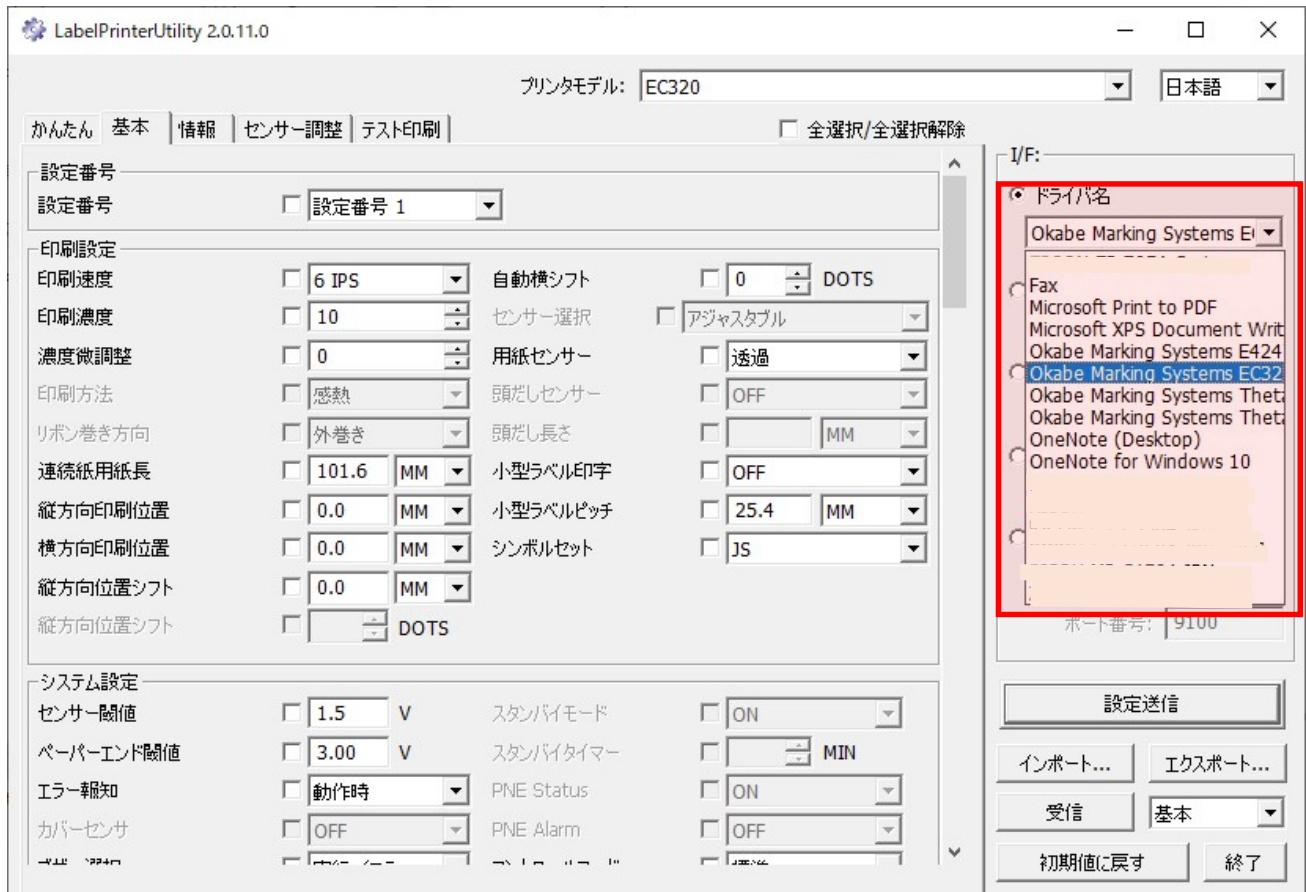
※ほとんどのプリンタモデルでは、正常に設定された場合、ビープ音の後に自動的にプリンタが再起動します。



2. インターフェース

プリンタドライバ

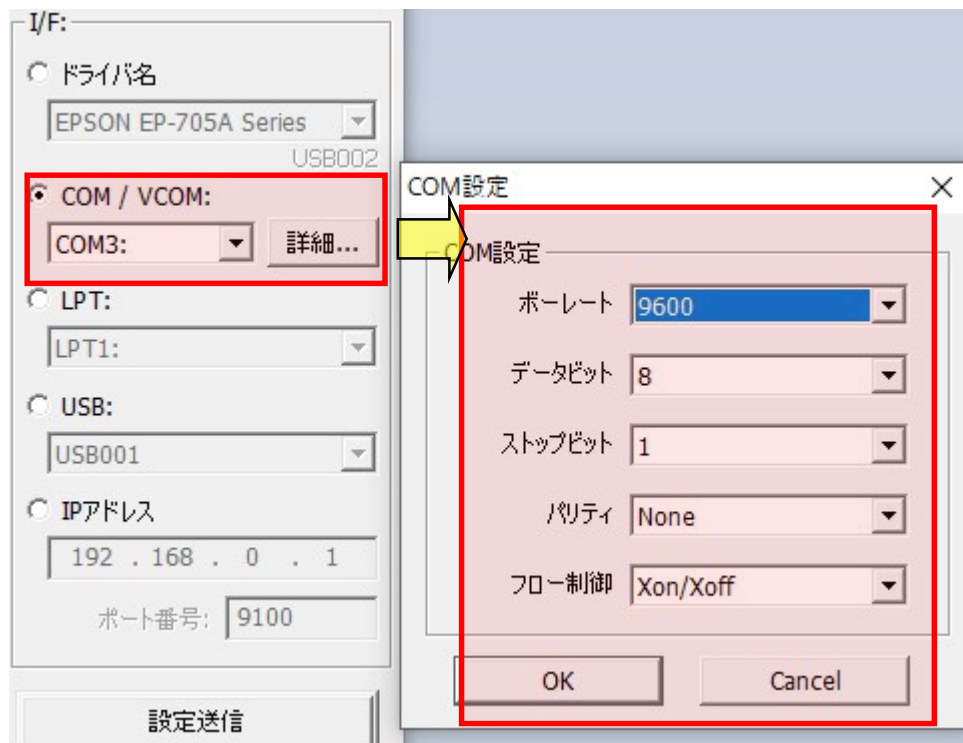
本ユーティリティは、選択したプリンタドライバの印刷ポートを使用して設定を送受信します。ドロップダウンリストには使用している Windows で使用可能なプリンタドライバがリスト表示されます。



シリアル(COM/VCOM)

インターフェースとしてシリアルを使用する場合、COM ポート番号を選択し、[詳細]ボタンから実際に使用しているCOM設定を行ってください。VCOM (仮想COM)ドライバをご利用の場合、VCOMでお使いのポート番号(例: COM8)がドロップダウンリスト中に表示されます。

※プリンタ側の COM 設定は、プリンタのプロパティから[ツール]タブを選択し、[印刷]メニューから[設定]を選択することで印字確認ができます。詳細はお使いのプリンタの取扱説明書をご参照ください。



パラレル(LPT)

パラレルをご利用の場合は、使用している LPT ポート番号を選択してください。

USB

USBを使用している場合は、一般的にプリンタドライバがインストールされていますが、USB ポート番号を直接指定する事も可能です。

LAN

LANをご利用の場合は、使用している IP アドレスとポート番号を入力してください。EC300 シリーズのポート番号として 9100 を使用します。

3. 設定の送信

設定送信機能

プリンタモデルを変更する度に、対象モデルの設定可能項目と初期値が項目設定エリアに表示されます。(グレーアウトしている項目は、選択したプリンタモデルでは設定不可の項目です。)

プリンタとの接続に使用しているインターフェースを選択し、設定したい項目にチェックを入れ、ドロップダウンメニューや直接入力で値を更新し、[設定送信]ボタンを押すことで、プリンタに値が設定されます。

上部の[全選択／全選択解除]ボックスで、設定可能な全ての項目の選択／解除ができます。

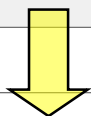
設定項目、値の範囲、初期値はお使いのモデルや地域によって異なります。取扱説明書をご参照いただくか、ご購入元にご相談ください。

[基本]タブ

項目設定エリア上部の[基本]のタブで、設定メニューを切り替えることができます。

[かんたん]タブについて

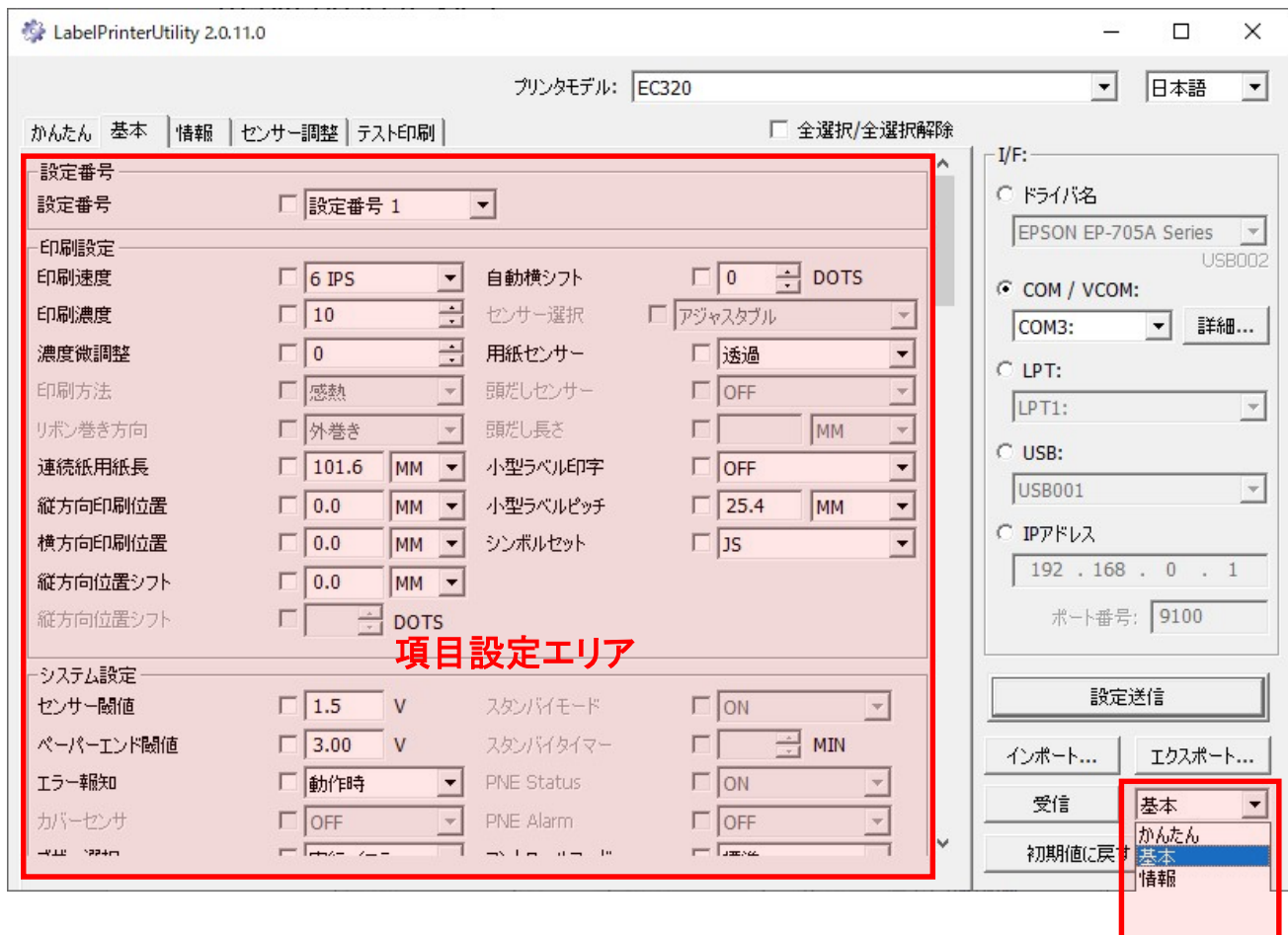
印刷を行うための簡易設定です。[かんたん]タブの設定項目は、[基本]タブの設定項目と相互に連動しており、チェックボックスにチェックが入っている項目の設定値が反映されます。



4. 設定の受信

設定受信機能

[受信]ボタンを押すと確認ダイアログが表示されます。「はい」を押すとプリンタの設定が項目設定エリアに反映されます。プリンタから受信する項目は[受信]ボタンの右にあるドロップダウンリストで“かんたん”、“基本”、“全て”、“情報”の 3 パターンから選択できます。“かんたん”は[かんたん]タブの項目のみ。“基本”は[基本]タブの項目のみ。“全て”は[基本]と[拡張]タブの項目を受信します。



[情報]タブ

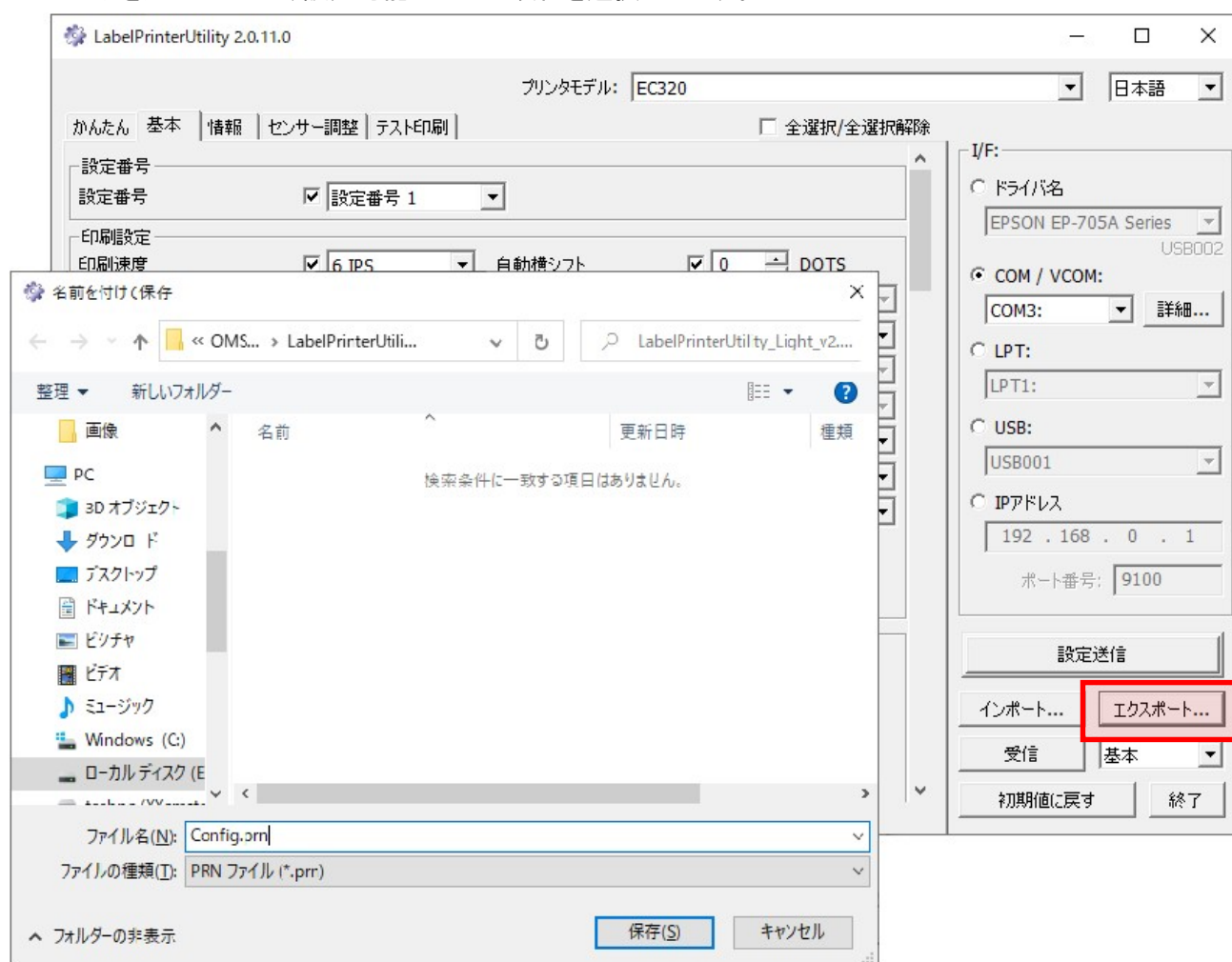
ドロップダウンリストで“情報”を選択すると項目設定エリア上部の[情報]タブに、プリンタのシリアルナンバー、プリントカウンター、サービスカウンター、カットカウンターのプリンタの情報 4 項目を受信して表示します。

5. エクスポートとインポート

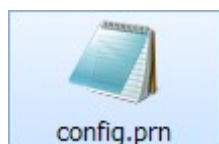
プリンタの設定をテキストファイルでインポート／エクスポートする機能により、複数台のプリンタに同じ内容を反映する事ができます。

エクスポート

テキストファイルに出力したい項目にチェックを入れ、[エクスポート]ボタンを押してください。任意のファイル名で、お使いのコンピュータにファイルを保存できます。項目の選択時に、上部の[全選択／全選択解除]ボックスにチェックを入れることで、設定可能な全ての項目を選択できます。

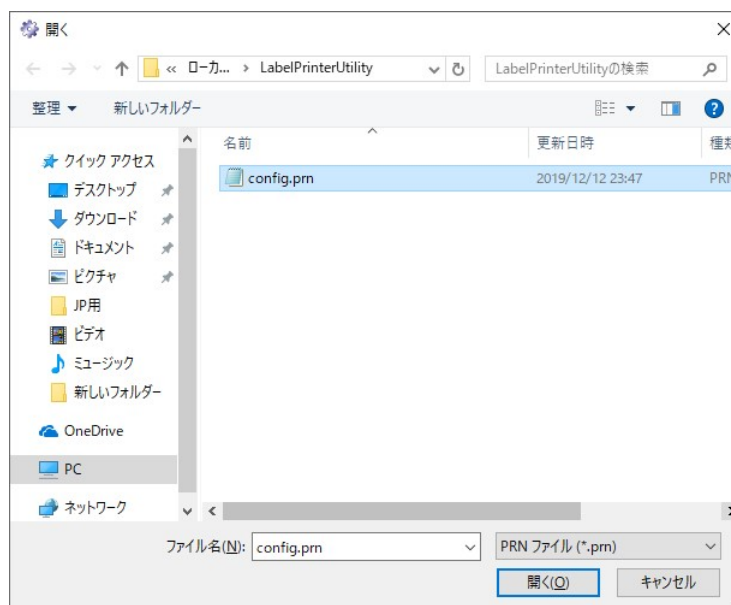


設定ファイルは“.prn”形式のファイルとして保存されます。



インポート

テキストファイルから設定内容を本ユーティリティに取り込むには[インポート]ボタンを押し、お使いのコンピュータに保存されている設定ファイルを選択してください。



設定ファイルの内容がユーティリティ画面上に反映されます。



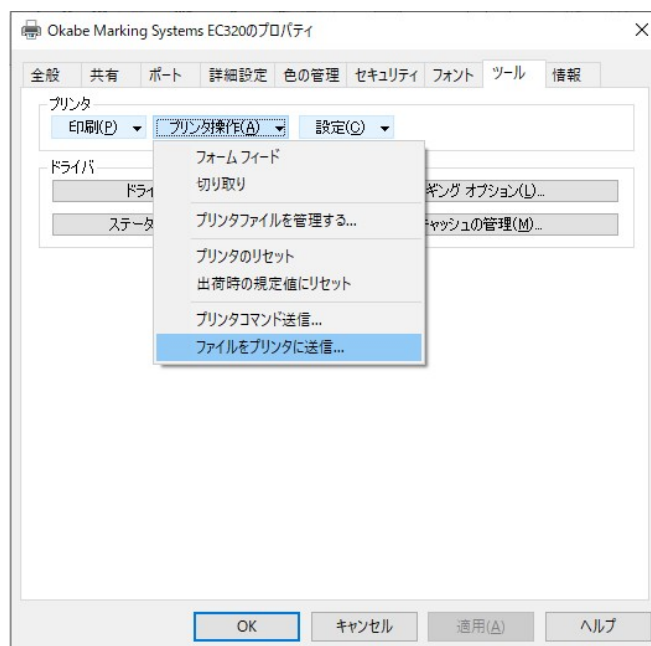
設定ファイル

“.prn”形式の設定ファイルは、一般的なテキストエディタで開き、編集することができますが、項目名と値以外は変更を行わないようにご注意ください。含まれる制御コードを変更した場合、設定ファイルが無効になる、もしくはプリンタに損傷を与える可能性があります。



設定ファイルの内容を本ユーティリティにインポートせず、直接プリンタに送信することもできます。

プリンタのプロパティから[ツール]タブを選択し、[プリンタ操作]メニューから[ファイルをプリンタに送信]を選択してください。詳細はお使いのプリンタの取扱説明書をご参照ください。



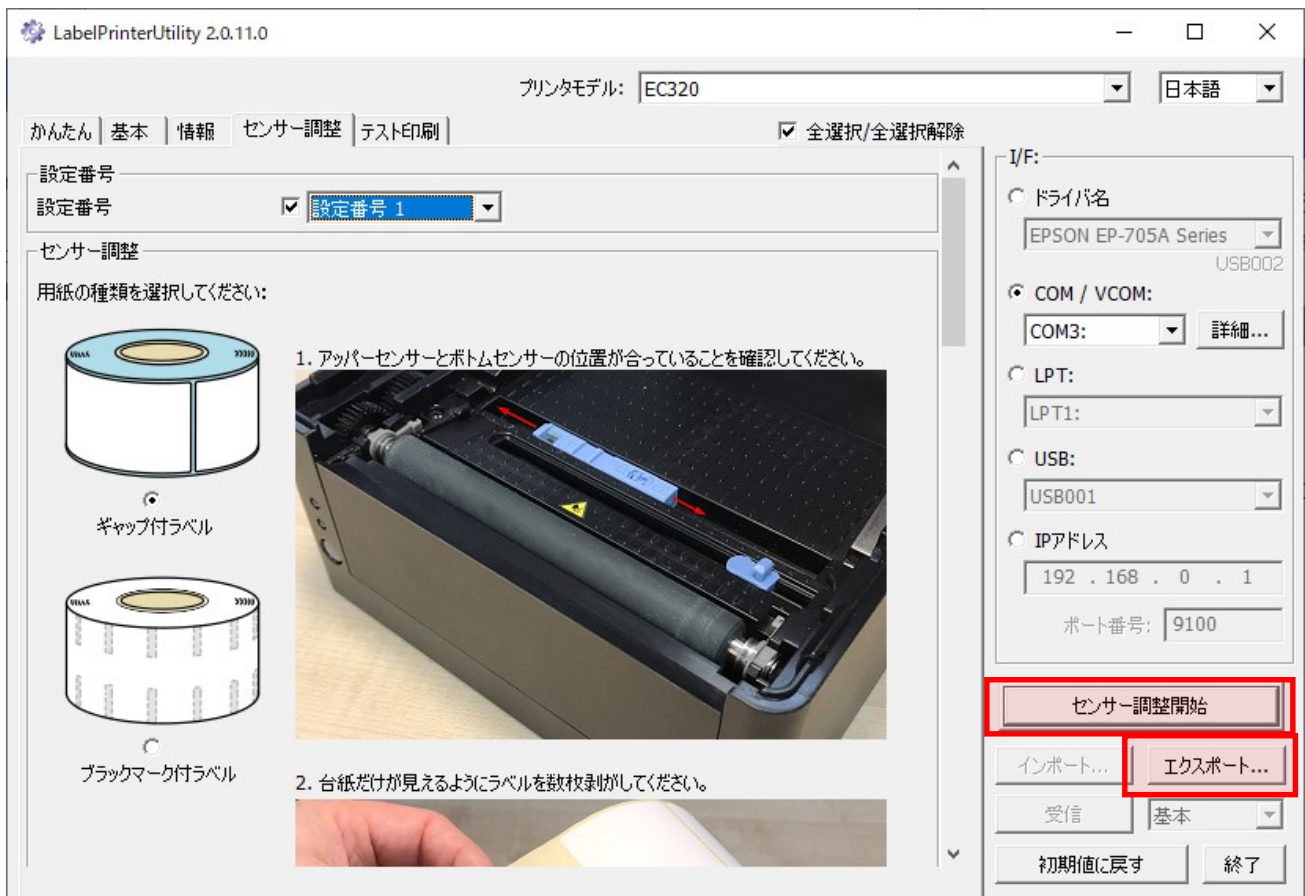
6. 用紙センサーの調整

センサー調整機能

[センサー調整]タブでは、プリンタの用紙センサーの調整を行うことができます。グローバル設定の”設定番号”、”用紙の種類”を選択し、ガイドに沿ってプリンタの準備を行ってください。[センサー調整開始]ボタンを押すことで、用紙センサーの調整が行われます。(”設定番号”の選択は省略可能です。省略した場合は、プリンタに設定されているグローバル設定に調整結果が反映されます。)

センサー調整設定のエクスポート

[センサー調整]タブを表示した状態で[エクスポート]ボタンを押すことで、用紙センサーの調整設定をファイルに保存することができます。保存したファイルを直接プリンタに送信することで、同じ設定で用紙センサーの調整を行うことができます。ファイルをプリンタに送信する方法は、「[設定ファイル](#)」を参照ください。

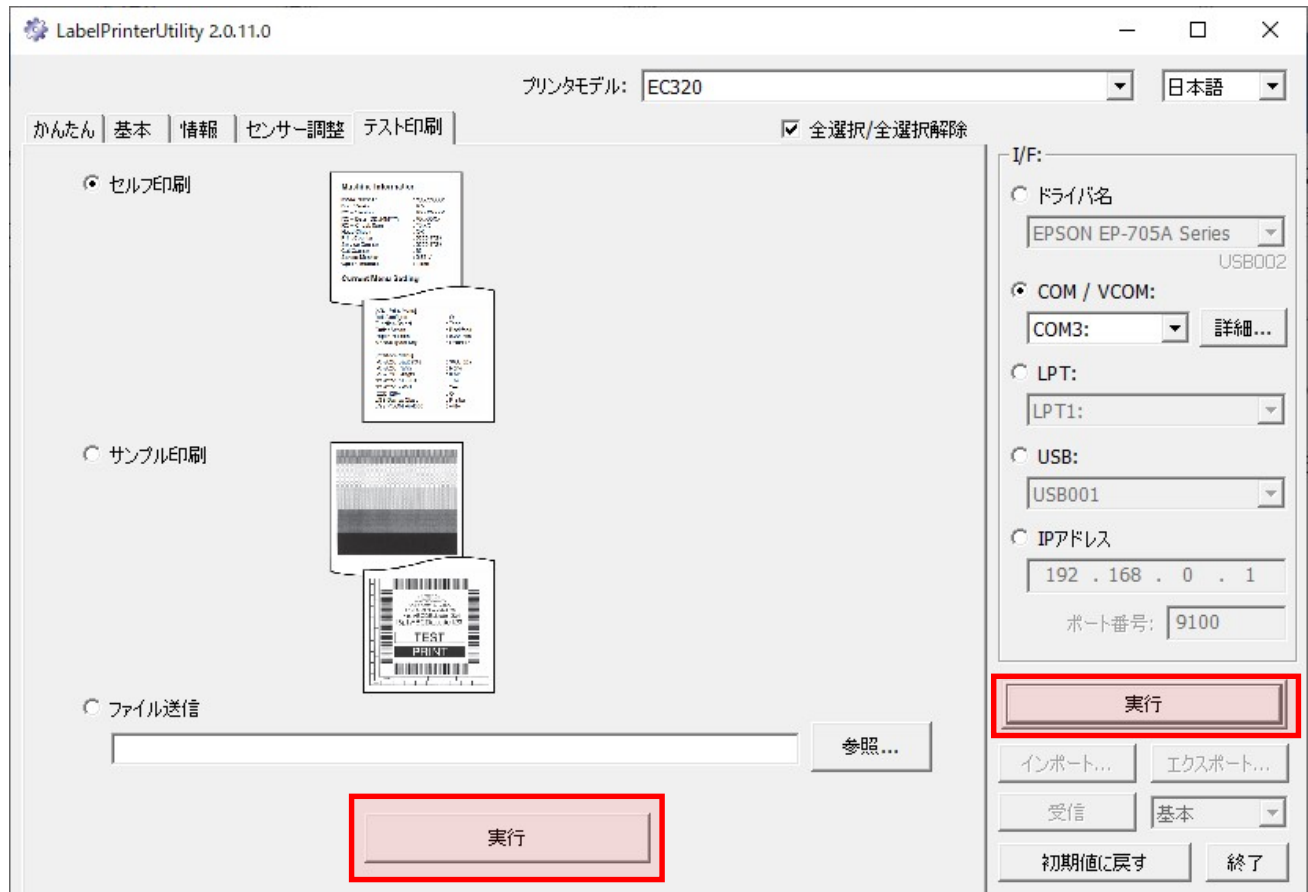


7. テスト印刷

テスト印刷機能

[テスト印刷]タブでは、セルフ印刷、サンプル印刷、ファイル送信を行うことができます。

”印刷の種類”を選択し、[実行]ボタンを押すことで、テスト印刷が行われます。



8. 初期化、終了

初期値に戻す

選択したプリンタモデルの設定初期値が、本ユーティリティ上に反映されます。プリンタに初期値が設定されることはありません。

終了

本ユーティリティを終了する場合は[終了]ボタンを押してください。確認ダイアログが表示されますので、「はい」を押すと終了します。（右上の×印を押しても、同じ動作になります。）

Label Printer Utility Light ユーザーズマニュアル

2021/6/16 Version.2.0.11.0

オカベマーキングシステム株式会社

<https://www.okabe-ms.co.jp/>